**目次と資料の説明**

**[1]　リーフレット　再改訂「放射線副読本」を撤回させよう・・・・・・・・・・・1**

　　　撤回署名運動のために作ったリーフレット。4ページで問題点がわかる。

**[2]　「放射線副読本の改訂について」文科省事務連絡・・・・・・・・・・・・・・5**

　　　文科省が、「放射線副読本」を学校に送り付けた時、都道府県教育委員会などに送った通知。留意点、セミナーに注目。

**[3]　「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」のポイント・・・・・・・・8**

　　　復興庁による[4]の要約。

**[4]　風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略・・・・・・・・・・・・・・・10**

「放射線副読本」を改訂させた文書。福島原発事故被害者を支援するものではなく、オリンピックまでに放射線汚染はないことにし、避難者を高汚染地に帰還させ、支援を打ち切る政策を国民・市民に認めさせる戦略。長いが読めば被害者を助けるものでないことがよくわかる。関係省庁と原子力ムラの専門家を動員して復興庁が取りまとめ、閣議決定。

**[5]　放射線副読本に関わる行政レビューシートの整理・・・・・・・・・・・・・・19**

3.11から3回全国の小中高生に配布された「放射線副読本」の予算、担当部署は次々変わった。2011年のものはレビューの結果不適格とされ、2013年度改訂された。

**[6]　放射線副読本改訂に関わる国会議事録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20**

政府与党の質問、避難者の子ども「いじめ」対策として「放射線副読本」改訂がまず要求された。風評払拭等福島のために、被害はないという放射線の知識を与える改訂の要求(章立て問題)、さらには使ったかどうかフォローアップ要求。

**[7]　福島復興再生特措法の改正、参議院付帯決議・・・・・・・・・・・・・・・・26**

2018年5月の特別措置法改正は、オリンピックへ向けて被害者切り捨て、汚染をなかったことにするものであった。参議院付帯決議(自民・こころ・民進・新緑風会・公明・日本維新の会・無所属クラブ)は長文で政権のやろうとしていることがみな入っている。放射線副読本まで(2013年度版)が引用されている。

**[8]　風評払拭・リスコミ強化アドバイザリー会合議事録概要・・・・・・・・・・・30**

「放射線被ばくを学習する会」の政府交渉で明らかになった。専門家たちと復興庁が国民市民の放射線が危険だという認識を変えるために知恵を絞っている様子がわかる。白内障は出ないとは言えないと正直に表明している。

**[9]　指導要録解説総則編 付録6「放射線に関する教育」(文科省)・・・・・・・・ 33**

　　　[2]に示された文書。たくさんの教科で「放射線教育」を行うことを推奨している。

**[10] 文部科学省発行「放射線副読本」の活用について(通知)静岡市教育センター・・ 35**

静岡市教育委員会が学校に指示したもの。放射線副読本のどのページをどの学年・教科で教えるかまで示している。[2]に書かれた教職員セミナー(放射線副読本とセットの復興予算)で提示されたと推察される。

**[11] 「放射線副読本」に関する要望　浜岡原発の再稼働を許さない静岡県ネット・・36**

**[12] 野洲市教委「放射線副読本」回収　京都新聞・・・・・・・・・・・・・・・・37**

**[13] 放射線副読本の配布の見直しを求める意見書　小金井市議会・・・・・・・・・38**

**[14] 「上関原発止めよう！ヒロシマネットワーク」からの報告・・・・・・・・・・39**

**[15] 「放射線副読本」について教育委員会や学校と話し合いましょう・・・・・・・40**

　　　各地でやってみてください。誰でもできる活動です。アンチョコ。

**経過**